

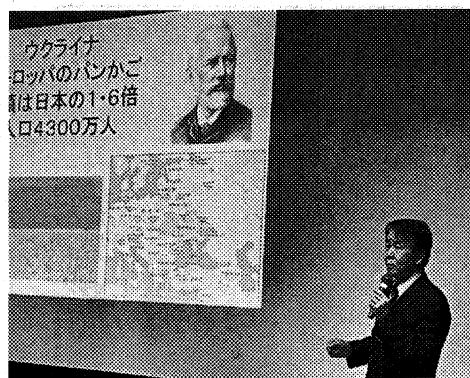
新春春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

戦争ができる国にさせないために

春日部9条の会 伊藤千尋氏が講演

9月24日、春日部9条の会が「戦争できる国にさせないために」と題して講演会をおこないました。講師はジャーナリストの伊藤千尋氏。「春日部は故郷のように感じる」と切り出した伊藤氏は、9条



講演する伊藤千尋氏

誰もが平和に生きる 権利を持っている

ロシアによるウクライナ侵略を機に「9条で平和が守れるか」「日本も軍備増強を」という論調が強まっています。ウクライナはかつてはロシアの植民地で、第2次世界大戦ではナチスの侵略、ユダヤ人大虐殺と迫害され続けてきました。ロシアは「ウクライナはロシアの一部」と主張し

ますが、第2次世界大戦後は国連ができ、平和の秩序がつくられました。誰にも「平和に生きる権利」が保障され、世界中で「戦争反対」の抗議デモが広がっています。軍事で平和は守れません。

憲法9条は押し付けられたものではない

9条改憲勢力は「日本の憲法は押し付けられたもの」「自主憲法が必要」と言いますが、9条を廃案したのはGHQではなく幣原喜重郎首相。幣原はマッカーサーと会談し「マッカーサー元帥の命令という形で『戦争放棄』の9条を出してほしい。世界は軍縮に進まざるを得ないが、突破口は戦争放棄の国を出現させる以外にない。日本はその役割を果たせる位置にいる。それがそが世界を救いアメリカをも救う唯一の道ではないか」と訴え、憲法9条が誕生した

のです。

市民運動こそが 憲法と平和を守る

戦争を放棄し軍隊をなくしたコスタリカは、軍事費を教育費に回して一人一人を尊重する豊かな教育を実現しました。憲法に男女平等を明記すると同時に、選挙の立候補者は男女同数と法律で規定し、国会議員の半数は女性です。国連に「核兵器禁止条約」を提案したのもコスタリカです。今後3年間は国政選挙の予定はありません。改憲派が国会の多数を占めています。主権者である国民が声をあげ運動を広げましょう。「軍事費2倍より年金2倍」など、自分の思いを声にすれば共感が広がり、改憲勢力を追い詰める力になります。市民運動こそが憲法9条と平和を守る力。さらに大きく広げましょう。



木下みえ子議員一般質問



危険な新川橋の早期架け替えを
令和四年度詳細設計へ

9月14日、木下みえ子議員は9月定例会で①新型コロナウイルス感染症対策において市独自の政策で検査体制の抜本的な拡充を求める②新川橋の早期架け替えを求めることについて一般質問をおこないました。

感染拡大を防ぐために
市独自で検査体制の拡充を

木下議員は「今回の質問は第7波で、検査や発熱外来に届かなかった市民の声が多かったこと。学校が

始まり、冬のインフルエンザの対策も含め、今以上の感染拡大が起こらないために市独自で施策を打ち出すべきではないか、という観点から取り上げます。」と述べ、発熱外来のパンクを防ぐため感染をコントロールすることが重要であり、精度の高い検査の拡充は、感染拡大防止に役立ち、住民の安心や医療の負担軽減にもつながると訴え、市の責任で、PCR検査や抗原検査キットの配布、無料の検査体制の拡充、個人で検査した料金に対して助成すること求めました。

健康保険部長は、基本的には症状のある方は医療機関を受診することが大切。医療のひっ迫に伴い県と

連携をはかり濃厚接触者への抗原検査キットの配布を始めた。無症状で感染が心配な方には県の無料検査事業があり、インターネットでも精度の高い抗原検査キットが販売開始された。市独自で検査キットの確保、費用の助成は実施が難しく、県の無料検査事業を周知していきたいと答えました。

県と連携し

新川橋の早期架け替えを

しかし市の検査キット配布は16日に終了しています。

県道西金野井春日部線の新川橋早期架け替えについて、県道の拡幅や新幸松橋の架け替えについては事業が進んでいるがその中で新川橋は危険なまま取り残されている現状であり「地域の方からは危険な橋を早く架け替えてほしい、という声をたくさんいただいている。

る。路線バスが通り、大型商業施設も近く通行量の多い新川橋や付近の危険な市道について市はどのように認識しているのか」質し、さらに現在の進捗状況、橋の構造、今後の事業の予定について質問しました。

建設部長はそれぞれ、自動車のスムーズな通行や歩行者自転車の安全な通行について課題があり、架け替えの必要性を認識している。

市道については開発行為や建築工事の際に道路後退の協力を頂き整備を進めていく。県からは、4年度から詳細設計を進めていく予定で、車道7m歩道が両側に各2.5m、関係機関の調整が整った段階で測量や用地取得に向けて事業を進めていくこと。市としては事業促進を図るため地域の方々との調整など協力をしていきたい、と答えました。

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

10/2(日) 染谷医院(内科系)西宝珠花700 電話748-1011
グレース家庭医療クリニック(小児科系)大倉610-10 電話718-0107 武里外科・脳神経外科(外科系)大畑241-2 電話736-7516

10/9(日) 東都春日部病院(内科系)大畑652-7 電話739-2000 名越内科医院(小児科)大枝89武里団地1-15-101
電話735-6627 東都春日部病院(外科系)大畑652-7 電話739-2000